

平成19年6月12日

伊勢市長 森 下 隆 生 様

御園地区地域審議会
会長 中 村 正

伊勢市総合計画の基本構想原案について（答申）

平成19年2月21日付け政第910号で諮問のありました「伊勢市総合計画（基本構想）原案」について、当審議会では、審議を行った結果、伊勢市の計画的なまちづくりの指針を定めるものとしておおむね妥当であると認めます。

なお、審議の過程で各委員から出された主な意見につきましては、別紙のとおりです。

「伊勢市総合計画（基本構想）原案」答申に当たっての主な意見
（御園地区地域審議会）

伊勢市として各地域の特色を生かした学校教育をどのようにすすめるのか、また、どのような子供たちに育てていくのかを明確に謳ってほしい。今後人口が減少していくなかで、これ以上の人口減少を防ぐためにも若い人たちが夢を持って働くことができ、地元が活性化するような企業誘致を計画するとともにまちの雰囲気づくりに努めてほしい。

今後高齢化が進む中でお年寄りの方を暖かく包み込むような施策を取り入れてほしい。

道路整備等は、観光施策をはじめ地域活性化を推進するうえでも重要であるので、各地域の可能性や課題について十分考慮したうえで各地域が有機的につながるまちづくりを短期・中期・長期の各スパンごとに明確に計画してほしい。その過程において地域審議会で挙げられた意見をはじめ幅広い意見を聞いた上で作成してほしい。

将来東海地震、東南海・南海地震が懸念されるなか、市民を守る消防など安全面・防災面について市民がより安心して暮せるようハード・ソフト両面にわたり配慮してほしい。

伊勢神宮というブランドイメージに頼り過ぎることなく、伝統を大切にしながらも将来に受け継ぐものを明確にしながら取捨選択した施策を講じてほしい。

現在の厳しい財政状況を少しでも良くするためにも、財政基盤を強化できるような施策を基本計画の中で検討してほしい。

基本計画を策定する過程において、行政改革の推進・人員の適正化・補助金・職員給与等について合併協定書の内容を遵守してほしい。